

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

鶴見市場地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

鶴見市場地域ケアプラザは、市場地区と市場第二地区の二つの自治連合会から成り立っていますが、地域性は異なります。市場地区の高齢化率は、平成 30 年 9 月現在、19.4%で、鶴見区の 21.1%を若干下回っていますが、一部（市場東中町：30.4%、市場西中町：28.4%）で高齢化が進んでおり、全体として「介護予防と見守り・支え合いの地域づくり」等、高齢化への対応が大きな課題となっています。

一方、市場第二地区では、工場跡地に大規模マンションの建設が進み、子育て世代を中心に人口流入が続いています。この 10 年間（平成 21 年 3 月～30 年 9 月）で総人口は 6,114 人増えていますが、この内 0～14 歳は 1,552 人と増加の 1/4 を占め、年齢 3 区分（0～14 歳人口、15～64 歳人口、65 歳以上人口）では、17.6%になり、鶴見区の 15.0%を 2.6 ポイント上回っています。市場小学校は、児童数が 1400 枚を超えて県下最大の規模となるなど、子育て支援が地域の課題となっています。なお、高齢化率は 15.6%です。

いずれの地区も地域活動は積極的であり、町会長をはじめ地域の関係者が幅広く活動しています。地域ケアプラザとしても、地域包括支援センター 5 職種が地域の情報やニーズを共有し、地域と連携して課題解決に取り組んでいます。

さらに、団塊の世代がすべて 75 歳となる 2025 年を視野に、できるだけ要介護状態にならないよう地域ぐるみの健康づくりの場を増やすとともに、生活上の困りごとを住民同士で支え合う仕組づくりの推進にも取り組んでいます。町内会館等を中心に健康講座等を開催したほか、大規模マンションにおける一人暮らし高齢者の見守りをテーマにした包括レベルの地域ケア会議を開催しました。

誰もが住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続けられるまち・鶴見市場をめざして、引き続き地域と一体となって取り組んでいきます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域包括支援センターを柱に、介護保険をはじめとした医療や福祉等に係る様々な相談に対応しています。日頃から、ケアプラザの事業や地域行事等を通じて、地域との顔の見える関係づくり・情報把握に努めています。子育て世代を中心に人口流入が顕著な市場第二地区でのニーズ把握を行うなど、地域活動交流コーディネーターと連携して子ども・障がい児者の相談を受け、個別・地域の課題の明確化に取り組みました。また、生活支援コーディネーターとも町丁目別人口動態の分析を踏まえて地域課題を把握し、地域資源の増加につなげる支援を行いました。

障がい関係の相談に関しては、「つるみ地域生活支援センター（「幹」相談室）」や、「りんくるつるみ」と連携して、より専門的な相談にも対応できるようにしています。

また、これらの問題（相談）が重複する場合には、区役所・区社協など各機関との連携を図り、滞りのないよう配慮しています。

個別ケースの見直しを定期的に行い、支援内容を確認して対応を再検討しています。

(2) 各事業の連携

地域活動交流コーディネーターと地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターで、毎月定例的に会議を行い、高齢者・児童・障がい児者の情報を共有し、早期の支援につながるよう対応しています。

また、基幹相談支援センターと定期的に情報交換を行い、エリア内で緊急時に支援が難しい障がいのある世帯の把握・共有に努め、支援センターの関わりについて情報共有し、見守り・相談につなげられるよう取り組んでいます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

横浜市及び介護保険法に定める職員数並びに資格要件を遵守し、必要な職員体制の整備を継続します。また、専門職としてのスキルアップを目指し、法人内外の研修に積極的に参加しました。

入職時をはじめ、毎年定例的に人権研修・個人情報保護研修、並びに必要な業務研修（リスクマネジメント、接遇、救急救命法等）を実施しています。

なお、研修内容については職員会議で報告し、職員間で共有しています。

ケアプラザ職員としての自覚を持ち、常に公正・中立の立場で相談・支援を行うため、会議等での啓発及びアンケート等を併せて実施し、公正・中立が保てているか確認を行っています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域課題を地域と協働で解決できる体制をつくるため、運営協議会レベル、自治会町内会レベル、民生委員、老人クラブ、子ども育成会、小中3校・PTA・地域による生徒生活指導協議会等関係機関との会合に参加し、地域との顔の見える関係づくりに努める中で、情報収集、伝達、共有化を図りました。

また、医師、薬剤師、訪問介護ステーション、ケアマネジャーなど専門職との定例会議に参加し、顔つなぎをすることで、多職種連携による効果的な支援ができ、地域の各種団体につなげていくキッカケとなりました（民生委員とケアマネジャーとの交流会、ケアマネジャーと医療機関との勉強会など）。

(5) 区行政との協働

区政運営方針で示された「安心」、「ぬくもり」、「活力」のあるまちづくり及び鶴見・あいねっとの基本理念である「たすけあい・支え合い・人と人とのネットワーク」を踏まえ、鶴見・あいねっとの区全体計画の3つの推進の柱の中に示されている地域ケアプラザの役割を果たすべく取り組みました。

また、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針に沿って、地域ケアプラザの地域特性に合致したきめ細かい取組を推進しました。具体的には、

1 鶴見・あいねっとの地区別支援チームのメンバー間で、情報共有、課題の検討を行い、地区別計画（市場地区、市場第二地区）を策定、推進しました。また、地区別フォーラム、地区懇談会を開催しました。

2 区の福祉保健施策、事業・定例会議（成年後見制度の区長申立て、災害時要援護者支援事業、地域包括支援センター職員連絡会議等）との連携、分担を確認し、地域の支援に隙間が生じないように配慮しました。

3 包括レベル地域ケア会議等で、区域レベルで検討すべき課題について、区域の職種別連絡会等で積極的に提言しました。

4 SOSネットワーク構築の推進に努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

担当地域の実情・ニーズを踏まえた自主事業を展開し、住民同士の交流の輪や地域活動団体、関係機関とのネットワークが広がるよう取り組みました。また、参加者の活躍の場づくり等、継続的な地域活動を支える支援体制を支援しました。

■高齢者対象事業

継続して介護予防教室や、体操教室を開催しました。特に人気の体操教室では夜の部を期間限定で開催し、普段は参加されない方にも参加していただきました。

■子育て支援事業

出張事業やゆうづるでの事業を継続して実施しました。出張事業では地域の会館を借り開催し、地域の保健活動推進委員会の方に協力していただきました。夏にはウッドデッキで水遊びを開催し、たくさんの親子に参加してもらいました。カフェコメットでは、子育て中のお母さんからのアイデアを基に計画をたてそれに沿って活動しました。

■その他

・学習支援事業は2019年度の自主化に向けて、ボランティアや地域の方、学校、社会福祉協議会などと連携して支援し、2019年度の自主化が実現しました。
・コミュニティハウスと共催での実施では、四季折々のコンサートや国際交流事業、フェスタなどを実施しました。大きな会場ならではの内容で開催でき、参加者の皆様にも好評でした。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザで活動をしている福祉保健活動団体等を紹介する掲示板の更新や、団体の情報を一冊にまとめた資料を地域の方に提供しました。掲示板は2階の廊下に常時設置し、半年（申し出あった場合は随時）に一度更新し、近況報告や情報の共有を図りました。ボランティア活動が必須の福祉保健団体Ⅱへボランティアの活動を紹介しました。団体の特徴や得意分野等を活かした活動のほか、ニーズに沿ったボランティアの提案や相談にも応じました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ① ケアプラザの広報誌に情報を掲載し、地域の方にボランティア情報の提供と呼びかけを行いました。併せて館内の掲示板などに掲示し、周知を行いました。また夏季はボランティア募集一覧を作成し募集を行いました。
- ② 鶴見区ボランティアセンターと連携し、ボランティア活動初心者の方の受け入れも行いました。また、デイサービスや包括支援センターなど各部署で活動しているボランティアの方が他の部署でも活動するなど、活動の幅を広げられるように支援しました。
- ③ 生活支援コーディネーターとシニアボランティア講座を開催し、高齢者のボランティアデビュー・活動につなげました。
- ④ 放課後ケアプラザに来ている小学生に声掛けをし、事業準備などのボランティアをしてもらいました。またボランティア体験の場として、学生ボランティアの受け入れを積極的に行い、ボランティア活動のきっかけ、体験の場として活動してもらいました。
- ⑤ サマーフレンドや夏祭りの準備など力が必要な事業に男性ボランティアの方をコーディネートしました。毎年開催している事業にはボランティアにも定着しておりボランティアから積極的に参加の申し出がありました。
- ⑥ 今年度はボランティア感謝祭と交流会を同時に開催しました。交流会も合同で開催することで日頃の活動の情報共有や、課題の認識、今後の活動の目標などが語られ

ました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の事業などに出席し、得た情報を五職種会議で共有しました。また五職種会議などで出た意見や情報を基に、地区支援会議にて支援方法を検討しました。(包括支援センター・CO・社協地区担当者)

館内のイベントカレンダーを引き続き作成し、情報提供を行いました。併せてホームページも活用し、広報などを掲載しました。子育て支援情報のみを集約した広報誌を発行し、地域の子育て広場やフリーフラット、子育て支援者さんと連携し、情報共有・提供・広報の協力をしてもらいました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ ケアプラザ所長
- ・ 生活支援コーディネーター1名
- ・ 地域活動交流コーディネーター1名
- ・ 地域包括支援センター4名 (主任ケアマネ、看護師、社会福祉士2名)

(2) 地域アセスメント (ニーズ・資源の把握・分析)

- ① 人口、世帯数、一人暮らし高齢者数、高齢化率、要介護認定率等について、町丁目別に把握・更新しました。
- ② 介護予防関連事業の参加者について、町丁目別に把握・更新しました。
- ③ 圏域の15老人クラブの会員数及び活動状況を把握・分析しました。
- ④ 生活支援インフォーマルリスト(地域活動サービスリスト)の更新及びAyamuの入力をしました。

(3) 連携・協議の場

- ① 毎月、5職種会議で生活支援体制整備事業(特に地域の動き)に関して報告し情報共有と各職種の連携について話し合いをしました。
- ② 毎月、区・包括支援センター連絡会で地域課題及び対応について情報を共有し連携を図り取り組みました。
- ③ 昨年度に引き続き、市場西中町で「できるだけ要介護状態にならないように地域ぐるみの健康づくりと、近隣住民による幅広い気づきで見守り・支えあう仕組みづくり」を推進するために協議体を開催し、暮らしを支える地域づくりに取り組みました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 区生活支援コーディネーター連絡会で広域課題の情報共有を行い、状況把握と課題解決に向けた対応に取り組みました。
- ② 区内ケアマネ向け地域活動サービスリストの更新
- ③ 地域ぐるみの健康づくり等圏域の自治会町内会の活動や、地域アセスメントの取り組み等を積極的に発信しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

例年通り、交流会や、勉強会などを開催し、ケアマネジャー等の介護関係者が民生委員などと連携しやすい環境作りを行ないました。

川のまちエリア会議では、医療・介護・地域住民に金融機関も加わり、この会議の広がりを感じられました。「認知症の方への対応」「オレオレ詐欺防止」をテーマに意見交換ができ、有意義な勉強会になりました。

福祉避難所訓練では、すでにある地域とのネットワークを生かしながら、緊急時にスムーズに対応できるように訓練を行ないました。

地域ケア会議では、引き続き地域の特徴である「築年数の長い大型マンション」をテーマに、自治会同士の交流や一人暮らしや認知症などの地域課題について話し合ってきました。

② 実態把握

民生委員・児童委員協議会や地区社協などの地域福祉活動者との交流が出来る場に参加して、地域の実態把握と地域課題の共有に努めました。

自治会・町内会や老人会などの行事等に出席して、地域活動を直接知り、地域作りの提案をしていきました。

④ 総合相談支援

包括3職種・4名体制での相談対応を基本とします。複雑で困難なケースに対応するため、地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーター、各関係機関と情報を共有し対応にあたりました。

区役所とも定期的に情報を共有し、必要時には同行し対応するなど、素早く適切な対応にあたりました。

民生委員とは日常的に連携を取り合い、要援護者についての情報を聞き取り、対応方法の相談や役割分担などを行い、地域の力を生かして地域生活の支援を行いました。

定期的に個別ファイル整理を行い、ケースを見直し、適切な支援に早急に取り組めるようにしました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

権利擁護が必要と思われるケースに迅速適切に対応できるよう、日頃より民生委員、ケアマネジャー、地域福祉施設等をはじめ地域の方との連携につとめました。

成年後見制度など権利擁護の説明相談会を実施し、内容に沿った相談ができるように取り組みました。また、地域住民の関心の高い「遺言」や「終活」などのテーマについて行政書士や協力医等と連携して幅広く情報を発信しました。地域向けの広報誌や支援者向けの講座などによる成年後見制度に関する普及啓発も行いました。

30年度は、地域高齢者向けの消費者被害未然防止に関わる講座を町内会館などに出張して行い、消費者被害や振り込め詐欺の防止に取り組みました。

② 高齢者虐待への対応

地域の医療機関、福祉施設や民生委員との連携を強め虐待の予防や早期発見に繋げました。

知り得たケースに対しては即時の対応を心掛け、区や包括で情報共有しました。また、ケアマネジャー、事業所など関係者での相談、認識の共有、対応の統一につなげ、色々な状況を考慮し、警察署などとも連携を取って対応しました。

区役所や関係機関と連携し、地域住民のほか、福祉保健関係者、ケアマネジャーなどへも高齢者虐待防止への啓発を行いました。

介護者のつどいでは参加者の声を掲載した「かたらい通信」を発行し、ケアマネジャー等とも連携し新規の参加者を受け入れます。リフレッシュ講座（「映画」「調理実習」等）や、協力医による講演を行います。介護者が抱え込まないような支援、居場所づくりに努め、新規参加者も参加しやすい雰囲気づくりに取り組みました。

④ 認知症

認知症サポーター養成講座を地域の企業や学校、地域住民組織などに向けて行いました。住民に認知症の方への理解を深める一助とし、30年度は、キャラバンメイトと高校生が交流できるグループワーク形式の講座を企画しました（鶴見総合高校）。引き続き、キャラバンメイトとも連携し協力しながら、講座を開催しました。「わになるネット」の周知を行い、必要な方への情報提供、利用の支援をしました。地域でも見守り体制の見直しを区役所と連携し進めました。

また、ほがらか教室、つるかめサロンなどの自主事業や共催事業でも認知症予防を取り入れたプログラムを行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地区社協や町内会等の役員交代などがあり、地域の集会に出来るだけ参加するようにしてきました。

地域ケア会議は、大型マンションの見守りをテーマの一つとして自治会・老人会との話し合いを続けました。個別ケース地域ケア会議を1回、包括レベル地域ケア会議を2回開催しました。

川のまちエリア会議では、町内会や民生委員のほか、商店や金融機関等の企業などを交えて話し合いました。今年度は、認知症サポーター養成講座および詐欺防止講座を開催し、意見交換を行いました。

生活支援コーディネーターとも連携しながら、地域の声を活かせるよう取り組みました。

② 医療・介護の連携推進支援

介護保険だけでなく医療制度の改定もありました。今まで以上に医療・介護の連携を求められており、特にリハビリ職との連携を図ってきました。

また、がん末期など重度の疾病がありながら在宅生活を送る人が増えており、在宅生活において、医療と介護双方の調整が必要なので、病院でのカンファレンスなど、積極的に病院に出向きました。

医療職と介護関係者との意思疎通を図るために、連絡会等で緊密な連携を図りました。ケアマネジャーの会議などで、双方が顔合わせをする場合には、今まで同様に包括が双方の調整役を担うよう努めました。

③ ケアマネジャー支援

制度改正で、サービス内容や個別ケースが複雑化しているために、ケアマネジャーの業務負担が増えないような助言・指導を心掛けてきました。

また、リハビリなどによる自立支援に向けた支援が各サービスに要求されるため、ケアマネジャーを中心とした関係者で方向性を共有できるよう努めました。

家族関係が複雑になり独居や認知症のケースも多く、ケアマネジャーだけでは対応に苦慮することが増えているため、ケアマネジャーの話しを聴き取り、負担感を軽減するような取り組みをしました。ケアマネジャーとの同行訪問やサービス担当者会議などでも、今まで通り指導・助言をしてきました。

新人・新任ケアマネジャーには、勉強会などを通じて、制度やケアプラン作成など基本的な事から指導していきました。

小さい事業所のように職場内の支援が得にくい状況では、ケアマネジャーが孤立しないように、包括から状況を聴き取るようにしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

川のまちエリア会議では、町内会や民生委員のほか、商店や金融機関等の企業などを交えて話し合いを行い、今年度は、認知症サポーター養成講座および詐欺防止講座を開催し、意見交換を行いました。

地域ケア会議では、引き続き地域の特徴である「築年数の長い大型マンション」をテーマに、自治会同士の交流や一人暮らしや認知症などの地域課題について話し合いました。

認知症サポーター養成講座などで認知症の啓発を行い、SOSネットワークの周知・活用につなげました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

毎年10件ずつほどプラン数が増え、個別での身近な目標設定、細かな生活の助言を行うなど、その人それぞれの生活歴や趣味や思考にあった介護予防プラン作成をめざしました。

体操や脳トレなど様々な特色を出すデイサービスも出来ており、不活発な生活を改善する機会として情報提供を行い、好ましい成果がでるよう積極的にすすめました。

介護保険サービスだけでなく、元気づくりステーション、身近な場所での介護予防活動、地域のインフォーマルサービスなどの紹介をすすめました。

民生委員や近隣住民など地域の方々を含めた支援体制が築けるよう、利用者様の状況を共有し、地域やまわりの方々との関係作りをすすめました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

定着している住民主体の地域の健康作りの場へ、講師や内容の提案や運営へ役立つ情報など伝え、引き続き後方支援をしました。

地域の会館等身近な場所で虚弱な方も集えるような場で、介護予防の啓発と住民同士で行える継続的な活動として紹介し介護予防の普及啓発を行いました。

自主事業では、相談ケースなどから引きこもりがちな方等への新たな参加を求め、参加者に自主的に関わってもらえるよう共に計画・実施しました。

地域交流、生活支援コーディネーターと協力し、シニアボランティアの方へ活動の場を提供し、自身の健康づくりや互いの地域との関わりを作る企画をしました。

元気づくりステーションでは、高齢による認知症等で様相の変わった参加者それぞれが状況を分かち合い、参加者同士の関わり、活動の目標設定などを話し合いました。

民生委員、保健活動推進員や老人クラブ、自治会と関係を強め、地域での講座の開催や事業への協力をお願いや地域での活動を通して連携しました。

5 その他

コミュニティハウスとの連携

コミュニティハウスとの併館を活かし、それぞれのネットワークを活用して多様なテーマでの事業展開を行い、幅広い年代の方々に地域ケアプラザを利用して頂けるよう努めました。また、利用者の福祉保健活動へのきっかけづくりに協働で取り組み、11月の児童虐待防止月間では、共催での啓発事業を継続して実施しました。

同様に地域の方々と協働し、地域の課題や担い手などの問題について検討する機会を増やし、新たな社会資源の開発やネットワークの構築に努めました。状況に応じて、地域ケア会議への参加等も検討しました。

コミュニティハウスは投票場としての機能もあり、初めて「ゆうづる」を訪れる方も多くいらっしゃいます。この機会を利用して館内に「ゆうづる事業紹介」「地域の活動紹介」などを掲示するなど、初めて来られる方に「ゆうづる」の周知を行い、次に繋がるための工夫を継続して行いました。

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設の維持管理にあたっては、基本協定書に基づき適切な管理に努めました。

1 施設・物品管理

- (1) 保守管理業務については、日常的に目視等の保守点検を行い、専門的な点検については専門業者に委託することにより、定期的に必要な保守管理を行いました。
- (2) 環境管理業務については、館内・外構・植栽について日々清掃・消毒・除草を行い、施設・備品の美観・衛生の維持並びに汚損防止に努めました。

2 改修等

施設の保全や利用者の安全確保を目的とした改修について鶴見区と協議して対処しました。

3 利用ルールの徹底

利用者相互が安全・快適に利用できるように、利用ルールの遵守をお願いするとともに、利用後の点検を実施しています。

(2) 効率的な運営への取組について

1 業務・職種間連携

ケアプラザ内及び併設施設との業務・職種間連携により、部門間で役割を分担し、重複することなく、多様なサービスを提供することができました。

2 経費削減の取組み

ランニングコストについて、無駄を省くための取組みを実施しています。

(1) 業務委託

施設管理について、入札等により適切な業者を選定するとともに、ボランティア及びスタッフで管理し、質を確保しつつ経費の削減を図りました。

(2) 水道光熱費の節約

空調機についてはこまめに温度設定を行い、経費の節約に努めています。また、春季・秋季には外気導入により空調機の利用を極力抑制に努めました。

(3) 苦情受付体制について

苦情解決に関しては、横浜市、法人が定める規程等に則って、次により体制を整え、解決に努めました。

- 1 苦情解決の窓口・手順を利用者（及び関係者）に書面で提示しています。
- 2 利用者・家族・代理人からの指摘に対して、常設の窓口である苦情相談受付担当者が、迅速に関係者から聴取及び事実関係の確認を行っています。
- 3 ご意見箱を常置し、利用者のご意見を受付け、改善を図っています。
- 4 法人が設置している第三者委員会の委員名を書面で掲示しています。
- 5 ホームページや広報誌から、Eメールによる苦情受付を周知しています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

法令に基づく防災計画に則って、年2回防災訓練を実施するとともに設備・機器の保守点検も実施しました。また、機械警備による不在時の防犯対策や貴重品の施錠管理を徹底するなど、緊急時の体制・対応整備に努めています。合わせてデイサービス利用者や館内利用者の協力を得て合同避難訓練を行い、課題の有無を検証しました。

平成31年2月に、災害時要援護者受入のシュミレーション訓練、福祉避難所開設訓練、防災備蓄庫の確認、鶴見消防団第六分団の指導によるAED操作訓練等を実施しました。また、平安小学校地域防災拠点訓練や鶴見区災害ボランティアネットワーク訓練に参加する等地域と連携して防災対策に取り組んでいます。

(5) 事故防止への取組について

デイサービス作業手順書・マニュアルの改訂作業のほかヒヤリハット事例の共有、「介護事故とリスクマネジメント研修」などにより、事故防止に取り組んでいます。また、ヒヤリハット・事故報告については、職員会議でも共有しています。

施設的环境・整備についても、日常的に目視・点検を実施し、事故発生原因を取り除くことにより、事故発生の予防に努めています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報の保護に関する条例」その他関係法令及び「厚生労働省の定めるガイドライン」を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理に努めています。また、法人が定める「個人情報保護に関する基本方針」に則って、適切な情報管理に努めています。

なお、法人独自の取組として、個人情報保護の取組を全職員に周知徹底するため、個人情報保護に関する規程類を明確にするとともに、入職時及び毎年、個人情報保護研修を実施しています。

また、誤送付・誤交付など漏えい事故防止のため、指さしチェック、ダブルチェックの徹底を図っています。

(7) 情報公開への取組について

1 利用者からの情報開示請求に対して、積極的な情報開示に努めています。

2 個人情報保護に関する方針、運営規程、事業計画・決算書などを掲示または閲覧用に設置しています。

(8) 人権啓発への取組について

「横浜市人権啓発推進計画」における「人権啓発推進の考え方」に基づいて、「すべての人が人権の主体である」ことを認識し、日頃から自己研鑽に努め、人権感覚を磨き、人権を侵害する行為をなくすという視点をもって行動すべく、職員研修を通して人権啓発に取り組んでいます。

合わせて、地域に対しても、人権を他者の問題ではなく、自分自身の問題として捉えられることのできる啓発を行っています。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市が行う「G30行動指針」に基づいたゴミの発生抑制、再利用、リサイクルに取り組んでいます。空調機の設定温度は季節ごとに設定し、照明はこまめに消灯を行っています。

ゴーヤなどグリーンカーテンも地域と協働で設置しました。

こうした取組について、施設利用者の理解と協力がえられるよう広報も行いました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

1. 管理者 主任介護支援専門員（兼務）
2. 担当者 ①看護師1名 ②主任介護支援専門員1名 ③社会福祉士2名

《目標に対する成果等》

1. 住み慣れた地域で住み続けられるよう、自立支援に繋がる介護予防や認知症予防を行ないます。認知症の理解を深めてもらうために、地域に出向いて啓発活動を行ないます。
2. 介護予防・日常生活支援総合事業への対応を周知していきます。併せて地域の社会資源を関係者で共有できるように努めます。
3. 医療・福祉の連携を深めて、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 交通費

通常のサービス提供の実施地域を超える地域に訪問し、または出張する必要がある場合には、その旅費（実費）に対する支払いが必要になります

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 町内会や自治会等の集会や地域活動に参加して、地域作りに取り組んでいます。併せて介護保険の説明や認知症予防・介護予防などの啓発活動を行なっています。
- ・ 『元気づくりステーション』は、町内会館が月4回、市場小が月2回の開催を続けていて、体操や手芸など介護予防に取り組んでいます。
- ・ 地域課題には、地域ケア会議や川のまちエリア会議を活用して、地域の方々と意見交換が出来るようにしています。
- ・ 認知症カフェを協力医の診療所で2カ月に1回開催しています。
- ・ ケアマネジャーや介護サービス事業所・医療機関などとの連携を深めて、良い支援を目指しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
193	189	190	189	186	188
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	191	194	194	196	200

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 1、管理者 1人
- 2、主任介護支援専門員 2人
- 3、介護支援専門員 3人

《目標に対する成果等》

- 1、医療との連携を密にし、入院時の情報提供や退院時の調整の時は、担当職員に連絡し適時病院に行き用紙を渡したり、情報を聞き取ったりしました。
- 2、利用希望のあったご利用者様は断らず受け入れました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 交通費

通常のサービス提供の実施範囲を超える地域に訪問し、または出張する必要がある場合にはその旅費(実費)に対する支払いが必要ですが、いただいた実績はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域に根ざした横浜市鶴見市場地域ケアプラザゆうづるとして、より一層ご利用者様が安心して住み慣れた地域での生活が送れるように努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
98	92	95	98	100	101
10月	11月	12月	1月	2月	3月
103	103	99	99	97	96

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎・入浴・食事サービス・機能訓練サービス・日常生活上の援助
健康上の確認・相談・助言等に関すること。
- 口腔機能向上訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	692円
（要介護2）	816円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1076円
（要介護5）	1205円

上記金額の他に以下の項目が加算されます。

介護職員処遇改善加算	サービス提供単位数に0.059を乗じた単位
入浴加算	54円
口腔機能向上加算	161円

- 食費負担 700円
- おむつ 100円
- パット 50円

- 実施地域以外送迎費 通常の事業の実施地域以外の地域に居住する御利用者に対して行う送迎に要する費用
 - ・送迎距離片道10km未満：1回につき300円
 - ・送迎距離片道10km以上：1回につき500円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：35 （半角で入力 例9：00～15：00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤兼務）
- 看護師（機能訓練指導員兼務）3名（常勤1名兼務、非常勤2名兼務）
- 介護職 16名（常勤3名兼務、非常勤13名）

《目標に対する成果等》

通所介護サービスを提供する事により、ご利用者がその有する能力の維持向上に努め可能な限り居宅において自立した日常生活を営む事が出来るよう以下の取り組みをすすめました。

- 1 来所時に看護師によるバイタルチェックを行い、健康状態を経過的に把握するよう努め、連絡帳等により、ご利用中のご様子やバイタルチェックの結果をご家族また関係者様にお知らせしました。
- 2 ご利用者様の体調等に変化がある時は、ご家族や担当ケアマネジャーに報告を行ない、情報を共有しました。また事前に予防的な対応が出来るよう心がけました。
- 3 ニーズのある方には口腔機能向上の取り組みを看護師が中心となり行いました。
- 4 午前、午後に各30分程度の体操や運動器具を使用して機能訓練等を行い、歩行運動を積極的に行ない、運動能力の維持につながるよう努めました。

- 5 通所介護計画をケアマネジャーのケアプランに基づき作成しました。
- 6 事業所としての事前のアセスメントを行い、ご利用者に適正なサービスが提供出来るように努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- リフト付送迎車による自宅送迎があります。
- 浴室には車イスに座ったまま入浴出来るリフト入浴があります。
- 毎日のお楽しみ入浴を行います。（ゆず、菖蒲、みかん、お茶、ハーブ等）
- 歩行運動の一環として、季節によって敷地外にある公園、また敷地内にある庭園への散歩を行います。
- 個別レクリエーションの充実を図り、個人の活動の場を提供します。また、運動器具等を使用し運動の促進、楽しみながらの体力維持等を図ります。
- 介護ロボ「TANO」を導入し、レクリエーションや機能訓練で活用するだけでなく、静養室等の従来死角となっていた場所の見守りでの活用も行います。
- 誤飲、誤嚥の予防を目的として昼食前には口腔体操を行ないます。（体操を行なうことにより唾液の分泌を促し、誤飲、誤嚥の予防につながります。）また昼食後には口腔ケアを実施し、清潔の保持に努めます。
- デイサービスの見学ができます。（昼食・おやつ代 700円）

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
626	646	630	637	647	614
10月	11月	12月	1月	2月	3月
611	681	639	606	605	687

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 送迎・入浴・食事サービス・機能訓練サービス・日常生活上の援助
健康上の確認・相談・助言等に関すること。
- 口腔機能向上訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1・要支援2・事業対象者）週1回程度
1890円

（要支援2）週2回程度
3473円

口腔機能向上加算 168円

運動機能向上加算 251円

上記利用料には下記加算が含まれます

介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

地域加算（2級地）

●食費負担 700円

●おむつ 100円

●パット 50円

●実施地域以外送迎費 通常の事業の実施地域以外の地域に居住する御利用者に対して行う送迎に要する費用

・送迎距離片道10km未満：1回につき300円

・送迎距離片道10km以上：1回につき500円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：35 （半角で入力 例9：00～15：00）

《職員体制》

●管理者 1名（常勤兼務）

●生活相談員 3名（常勤兼務）

●看護師（機能訓練指導員兼務）3名（常勤1名兼務、非常勤2名兼務）

●介護職 16名（常勤3名兼務、非常勤13名）

《目標に対する成果等》

第1号通所事業を提供する事により、ご利用者がその有する能力の維持向上に努め可能な限り居宅において自立した日常生活を営む事が出来るよう以下の取り組みをすすめました。

- 1 来所時に看護師によるバイタルチェックを行い、健康状態を経過的に把握するよう努めました。
- 2 連絡帳等により、ご利用中のご様子やバイタルチェックの結果をご家族また関係者様にお知らせしました。
- 3 ご利用者に変化がある時は、ご家族や担当ケアマネジャーに報告を行ないました。情報を共有し、予防的な対応が出来るよう心がけました。
- 4 ニーズのある方には口腔機能向上の取り組みを看護師が中心となり行いました。
- 5 午前、午後に各30分程度の体操や運動器具を使用して機能訓練等を行い、歩行運動を積極的に行ない、運動能力の維持につながるよう努めました。
- 6 通所介護計画をケアマネジャーのケアプランに基づき作成いたしました。

7 事業所としての事前のアセスメントを行い、ご利用者に適正なサービスが提供出来るように努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- リフト付送迎車による自宅送迎があります。
- 浴室には車イスに座ったまま入浴出来るリフト入浴があります。
- 毎日のお楽しみ入浴を行います。（ゆず、菖蒲、みかん、お茶、ハーブ等）
- 歩行運動の一環として、季節によって敷地外にある公園、また敷地内にある庭園への散歩を行います。
- 個別レクリエーションの充実を図り、個人の活動の場を提供します。また、運動器具等を使用し運動の促進、楽しみながらの体力維持等を図ります。
- 介護ロボ「TANO」を導入し、レクリエーションや機能訓練で活用するだけでなく、静養室等の従来死角となっていた場所の見守りでの活用も行います。
- 誤飲、誤嚥の予防を目的として昼食前には口腔体操を行ないます。（体操を行なうことにより唾液の分泌を促し、誤飲、誤嚥の予防につながります。）また昼食後には口腔ケアを実施し、清潔の保持に努めます。
- デイサービスの見学ができます。（昼食・おやつ代 700円）

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	9	7	7	7	7
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	7	9	9	9	7

平成30年度「鶴見市場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,396,720	0	18,396,720	18,353,018	43,702	横浜市より
利用料金収入	0		0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入	0		0	374,000	374,000	参加費収入
雑入	0		0	3,181	3,181	雑収入
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	0	0	なし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理充当)	0		0	3,181	3,181	G30古紙売り払い、公衆電話利用収入
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	なし
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	なし
収入合計	18,396,720	0	18,396,720	18,730,199	333,479	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,309,000		12,309,000	10,961,703	1,347,297	
本俸	8,786,000		8,786,000	7,929,210	856,790	給与本俸
社会保険料	900,000		900,000	775,732	124,268	社会保険料
手当計	2,500,000		2,500,000	1,969,012	530,988	調整手当・超過勤務・期末手当・通勤手当・住宅手当
健康診断費	13,000		13,000	10,406	2,594	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	パワフルふんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	264,521	164,521	退職共済掛金
その他	10,000		10,000	12,822	2,822	インフルエンザ予防接種費
事務費	1,352,000		1,352,000	1,529,181	177,181	
旅費	10,000		10,000	15,757	5,757	出張旅費
消耗品費	200,000		200,000	199,006	994	消耗品
会議随いつい	0		0	0	0	なし
印刷製本費	200,000		200,000	156,531	43,469	コピー料金・封筒他
通信費	400,000		400,000	486,795	86,795	固定電話・携帯電話・郵便代
使用料及び賃借料	0		0	0	0	なし
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	66,096	66,096	社会保険労務委託費
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	20,000		20,000	12,040	7,960	施設賠償総合火災保険料
職員等研修費	10,000		10,000	3,043	6,957	研修費・研修交通費
振込手数料	20,000		20,000	18,384	1,616	振込手数料
リース料	100,000		100,000	102,276	2,276	コピー機・AEDその他
手数料	0		0	2,395	2,395	配送手数料他
地域協力費	100,000		100,000	112,547	12,547	夏祭り共催負担金・地域各行事参加費他
その他	292,000		292,000	354,311	62,311	広報費・保健衛生費・諸会費その他
事業費	782,000		782,000	932,466	150,466	
運営協議会経費	42,000		42,000	43,431	1,431	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	740,000		740,000	889,035	149,035	自主事業材料費・講師謝金等
管理費	2,969,000		2,969,000	2,928,710	40,290	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	なし
光熱水費	800,000		800,000	1,281,198	481,198	光熱水費
電気料金	266,666		266,666	419,487	152,821	
ガス料金	266,667		266,667	435,996	169,329	
水道料金	266,667		266,667	425,715	159,048	
清掃費	212,161		212,161	212,161	0	館内定期清掃・タイル・窓ガラス・換気扇・排水口他
修繕費	474,000		474,000	430,298	43,702	修繕費
機械整備費	87,000		87,000	75,742	11,258	機械整備費
設備保全費	423,402		423,402	661,911	238,509	
空調衛生設備保守	36,414		36,414	27,311	9,103	空調機設備
消防設備保守	36,865		36,865	36,865	0	消防設備
電気設備保守	59,333		59,333	51,235	8,098	電気設備
害虫駆除清掃保守	21,944		21,944	22,572	628	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	268,846		268,846	523,928	255,082	昇降機設備点検、自動ドア保守、その他設備点検
共益費	0		0	0	0	なし
その他	972,437		972,437	267,400	705,037	保守点検費・横浜市ゴミルート回収委託料
公租公課	984,720	0	984,720	876,936	107,784	
事業所税	0		0	0	0	なし
消費税	984,720		984,720	876,936	107,784	人件費消費税
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
二一対応費	0		0	0	0	
支出合計	18,396,720	0	18,396,720	17,228,996	1,167,724	
差引	0	0	0	1,501,203	1,501,203	

自主事業費収入	740,000		740,000	374,000	366,000	参加費収入
自主事業費支出	740,000		740,000	889,035	149,035	講師謝金・材料費等
自主事業収支	0	0	0	515,035	515,035	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「鶴見市場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,446,000	0	28,446,000	28,245,375	200,625	横浜市より
指定管理料(介護予防)	144,000		144,000	144,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	4,873,207	915,793	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	なし
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	741	741	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	0	0	なし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理充当)	0		0	741	741	G30吉紙売り払い収入
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	なし
収入合計	34,379,000	0	34,379,000	33,263,323	1,115,677	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,287,000	0	31,287,000	29,832,914	1,454,086	
本俸	19,500,000		19,500,000	18,127,031	1,372,969	給与本俸
社会保険料	4,100,000		4,100,000	3,749,641	350,359	社会保険料
手当計	7,177,000		7,177,000	6,814,992	362,008	調整手当・超過勤務・期末手当・通勤手当・
健康診断費	60,000		60,000	49,718	10,282	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	1,070,669	670,669	退職共済掛金
その他	50,000		50,000	20,863	29,137	インフルエンザ予防接種費
事務費	700,000	0	700,000	779,021	79,021	
旅費	40,000		40,000	10,981	29,019	出張旅費
消耗品費	90,000		90,000	92,852	2,852	消耗品
会議贈り費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	50,000		50,000	51,087	1,087	コピー料金・封筒他
通信費	200,000		200,000	168,214	31,786	固定電話・携帯電話・郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	165,996	165,996	社会保険労務委託費
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	30,000		30,000	12,040	17,960	施設賠償総合火災保険料
職員等研修費	120,000		120,000	89,336	30,664	研修費・研修交通費
振込手数料	10,000		10,000	9,961	39	振込手数料
リース料	50,000		50,000	48,852	1,148	コピー機・AEDその他
手数料	0		0	389	389	配送手数料他
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	なし
その他	100,000		100,000	129,313	29,313	広報費・保健衛生費・諸会費その他
事業費	1,580,000	0	1,580,000	793,398	786,602	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	協力医謝金
指定管理料充当自主事業(包括)	497,000		497,000	83,792	413,208	自主事業材料費・講師謝金等
指定管理料充当自主事業(介護予防)	144,000		144,000	145,622	1,622	自主事業材料費・講師謝金等
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	122,984	186,016	自主事業材料費・講師謝金等
管理費	812,000	0	812,000	778,501	33,499	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	なし
光熱水費	200,000	0	200,000	340,571	140,571	光熱水費
電気料金	66,666		66,666	111,509	44,843	
ガス料金	66,667		66,667	113,167	46,500	
水道料金	66,667		66,667	115,895	49,228	
清掃費	56,393		56,393	56,393	0	館内定期清掃・タイル・窓ガラス・換気扇・
修繕費	126,000		126,000	114,375	11,625	修繕費
機械警備費	23,133		23,133	20,133	3,000	機械警備費
設備保全費	112,543	0	112,543	175,941	63,398	設備費合計
空調衛生設備保守	9,679		9,679	7,259	2,420	空調機設備
消防設備保守	9,799		9,799	9,799	0	消防設備
電気設備保守	15,771		15,771	13,619	2,152	電気設備
害虫駆除清掃保守	5,832		5,832	5,999	167	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	71,462		71,462	139,265	67,803	昇降機設備点検・自動ドア保守、その他設備
共益費	0		0	0	0	なし
その他	293,931		293,931	71,088	222,843	保守点検費・横浜市ゴミルート回収委託料
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分						
当該施設分						
二一ス対応費						
支出合計	34,379,000	0	34,379,000	32,183,834	2,195,166	
差引	0	0	0	1,079,489	1,079,489	

自主事業費収入	950,000		950,000	0	950,000	なし
自主事業費支出	950,000		950,000	352,398	597,602	講師謝金・材料費等
自主事業収支	0		0	352,398	352,398	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 鶴見市場地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	430	1054	-624	17460	16322	1138	57600	60695	-3095	3600	2406	1194
	その他	1250	1084	166	560	608	-48	11650	13616	-1966	850	632	218
	介護予防ケアマネジメント費	1250	1084	166			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0	7200	8650	-1450	350	283	67
				0	560	578	-18			0			0
				0			0	4450	4956	-506	500	349	151
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	0	30	-30	0	10	-10			0
	収入合計(A)	1680	2138	-458	18020	16930	1090	69250	74311	-5061	4450	3038	1412
支出	人件費	0	0	0	17258	16609	649	52020	54492	-2472			0
	事務費	190	196	-6	460	369	91	1735	1837	-102			0
	事業費	0	0	0	50	49	1	8360	7779	581			0
	管理費	0	0	0	200	211	-11	11600	11669	-69			0
	その他	0	0	0	0	0	0	3990	3990	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0	3990	3990	0			0
	その他			0			0			0			0
支出合計(B)	190	196	-6	17968	17238	730	77705	79767	-2062	0	0	0	
収支 (A) - (B)	1490	1942	-452	52	-308	360	-8455	-5456	-2999	4450	3038	1412	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市鶴見市場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
転倒骨折予防教室 明日香	高齢者	278,400	地活	292,000		278,400		
	なし		包括					
	月1000円		介護					
			生活					
ヨガ健康体操教室	高齢者	66,816	地活	57,500		66,816		
	30名		包括					
	3ヶ月で500円		介護					
			生活					
のど自慢大会	地域住民と高齢者	30,030	地活	30,030			30,030	
			包括					
	無料		介護					
			生活					
オール市場ゆうづる夏祭り	地域住民	9,735	地活	9,735			9,735	
			包括					
			介護					
			生活					
ゆうづる キッズイベント	乳幼児とその保護者	152,591	地活	152,591		133,632	18,959	
			包括					
	無料		介護					
			生活					
クリスマスコンサート	地域住民	20,204	地活	20,204		16,704	3,500	
			包括					
	無料		介護					
			生活					
ソフトエアロビ教室	乳幼児とその保護者	33,408	地活	33,408		33,408		
			包括					
	3回1000円(収入は共催団体へ)		介護					
			生活					
サマーコンサート	地域住民	5,000	地活	5,000			5,000	
			包括					
	無料		介護					
			生活					
むかし遊び教室	地域住民	0	地活					
			包括					
	無料		介護					
			生活					
ゆうづる 鉄道フェスタ	地域住民	55,591	地活	55,591			55,591	
			包括					
	無料		介護					
			生活					
ウッドデッキで水遊び	未就学児とその保護者	3,775	地活	3,775			3,775	
			包括					
	100円(収入は共催団体へ)		介護					
			生活					
親子クッキング	未就学児とその家族	44,329	地活	28,079	16,250	19,488	24,841	
	各10組		包括					
	500円		介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
歌声喫茶	地域住民	8,589	地活	5,339	3,250			8,589	
			包括						
	100円		介護						
			生活						
ボランティア感謝祭・交流会	地域住民	20,530	地活	20,530				20,530	
			包括						
	無料		介護						
			生活						
国際交流クッキング	地域住民	11,782	地活	6,782	5,000		2,784	8,998	
	20人		包括						
	500		介護						
			生活						
絵本お話し会	未就学児とその保護者	0	地活						
			包括						
	無料		介護						
			生活						
サンタ派遣事業	地域住民	108	地活	108				108	
			包括						
	無料		介護						
			生活						
ウィンターコンサート	地域住民	5,536	地活	5,536				5,536	
			包括						
	無料		介護						
			生活						
スプリングコンサート	地域住民	7,766	地活	7,766				7,766	
			包括						
	無料		介護						
			生活						
ポッチャ交流会	地域住民	0	地活						
			包括						
	無料		介護						
			生活						
はまちゃん体操	地域住民	0	地活						
			包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
つるかめサロン	高齢者	13146	地活	13146			5568	7578	
	25人		包括						
	無料		介護						
			生活						
高齢者疑似体験	地域住民	2450	地活	2450				2450	
			包括						
	無料		介護						
			生活						
ほがらか教室	地域住民	4275	地活	4275				4275	
			包括						
			介護						
			生活						
地域ケア会議	地域住民	13648	地活	13648				13648	
			包括						
			介護						
			生活						
民生委員とケアマネ連絡会	ケアマネ・民生委員	14302	地活	14302				14302	
			包括						
			介護						
			生活						
介護者のつどい「かたらい」	地域住民	1800	地活	1800				1800	
			包括						
			介護						
			生活						
かたらいカフェ	地域住民	4902	地活	4902				4902	
			包括						
			介護						
			生活						
川のまちエリア会議	地域住民	200	地活	200					200
			包括						
			介護						
			生活						
続・男の筋トレ	成人男性	16704	地活	16704			16704		
	25人		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市鶴見市場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
明日香体操教室	介護予防と交流の場の提供	毎週火曜日50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操	高齢者の健康の維持向上を図り交流や情報交換の場とする。	月2回・24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ健康体操教室	高齢者の健康維持・向上を図るとともに、交流や情報交換の場を提供する。	毎月第4金曜日・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほがらか教室	高齢者の外出の機会や交流の場を提供する。	毎月（8月除く）・11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援者相談事業	毎月（8月除く）・11回	毎週金曜日・48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆうづるキッズイベント	読み聞かせ等のイベントを通し、親子の居場所づくり・情報交換の場を提供する。	毎月第1/第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウッドデッキで水遊び	2階、ウッドデッキに水遊びプールを設置し、夏の間の親子の居場所を提供する。子育て支援グループ「カフェコメット」との共催事業。	7、8月・3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びの広場 ゆうづルーム	ボランティアルームを常時、開放いつでもほっと出来るような居場所の提供。 また親子の交流・情報交換の場を提供する。	毎日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カフェコメット	子育て中の親子の情報交換・交流の場を提供する	毎月・11回（8月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本読み聞かせ会	親子の居場所づくり、親子間のコミュニケーション支援として開催。ボランティアによる未就園児向け絵本読み聞かせ会。	毎月・11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域育児支援イベント	保育施設・ケアプラザ、地区社協協働することにより、地域の子育て支援のネットワークの強化	10月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つるみサマーフレンド2018	夏休みの障害児の余暇を支援するとともに、ボランティアの育成を図る。	7月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆうづるのど自慢大会	地域住民と障害者がのど自慢を通して交流する事により、障害者理解を図ると共に、社会参加の場を提供する。	7、12、3月・3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
製品販売事業	地域活動ホームや地域作業所の当事者によるパン、クッキー等物品販売を通し障害理解を図る。	毎月3回・34回（8月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕飾り付け	飾り付けを通し、ケアプラザに親しんでもらうと共に、地域活動・ボランティア活動への参加を促す。	7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昔遊び教室	昔遊びを通し、世代間交流を図ると共に、ケアプラザに親しみを持ってもらう。	8月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鉄道フェスタ	高齢者から子ども、障害児者まで、誰もが楽しめる場を提供し世代間交流・障害理解を図る。	2月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オール市場ゆうづる夏祭り	地域組織をはじめとした近隣施設と連携し、地域間におけるネットワークの強化を図ると共に、ケアプラザの周知を行う。	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆうづる自習室	学習・読書が出来る部屋を開放し、普段来館の少ない世代（高校生・大学生）の参加を目指す。	7～8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	コンサートを通し、ケアプラザの周知を図ると共に、ボランティアの発表の場を提供する。	12月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン相談室	男性の外出の機会や情報交換の場を作り、交流を図る。 講師はパソコンボランティアが行う。	毎月第2水曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンタ派遣事業	施設内外で活動する子育てサークルを中心に、クリスマスイベントのための、ボランティアサンタを派遣し、地域活動の支援を行う。	12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	ボランティアの交流の場を提供し、地域活動の周知を図る。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴見・あいねっと 地域の紹介クイズ	ゆうづる夏祭りを通して、地位住民と協働し「鶴見・あいねっと」地域活動の周知・参加を目指す。	8月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆうづる健康 マージャンサロン	男性の外出の機会や情報交換の場を作り、交流を図る。 初心者には、ボランティアの指導が受けられるようにし、 幅広い参加を目指す。	毎月2回 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	健康づくり、交流の場として開催。ボランティアによる生 演奏に合わせて参加者が歌う会。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ソフトエアロビ 教室	母親のリフレッシュの場づくりとして開催。保育ボラン ティアによる保育を行い、親子が離れてそれぞれの時間を 過ごせるように支援している。市場地区社会福祉協議会との 共催事業。	毎月・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張カフェ	自治会館をお借りし、子育て支援事業を開催。外出のきっ かけ作りや親子の居場所、交流を目的とする。手遊びや絵 本の読み聞かせ、工作などを実施している。	年・19回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サマーコンサート	地域住民の居場所づくりとしてコンサートを開催。音楽を通して交流を促進。	年・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボッチャ交流会	介護予防やスポーツを通じた多世代交流の機会として実施。	年・10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子クッキング	コミュニティハウスと共催で共催し、食育、調理を通し親子のコミュニケーションを促進する。	毎月1回（年10回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
国際交流クッキング	横浜市国際学生会館、鶴見市場コミュニティハウスと共催で実施。調理を通して異文化交流を図る。	2月 年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆうづる学習会	諸事情により塾などに通うことが困難なご家庭の中学生の学習支援事業	毎月定期的に45回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆうづる夜でも体操	夜の貸し館率向上のために夜間に実施。幅広い年齢層に健康増進を働きかける。	6・7月4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウィンターコンサート	身近な場所で音楽に親しんでもらう。高齢者の外出のきっかけ作りや、子育て世代も気軽にコンサートに来てもらう。	冬1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スプリングコンサート	身近な場所で音楽に親しんでもらう。高齢者の外出のきっかけ作りや、子育て世代も気軽にコンサートに来てもらう。	春1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
つるかめサロン	介護予防・認知症予防を目的に、運動や製作、脳トレ、健康講座等を実施している。	月1回 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者疑似体験	夏祭りの機会に、子どもや若い世代などの地域の方々に高齢者の身体的な状況を体験してもらい、福祉への興味関心のきっかけにする。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほがらか教室	市場地区社協との共催で健康教室を開催	月1回 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	大型マンションの見守りをテーマの一つとして自治会・老人会との話し合いを続けた。	年4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネ連絡会	地域でケースに関わっている民生委員とケアマネが良好な連携が出来るよう、顔合わせと現状の課題など話し合う。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい「かたらい」	介護に悩む家族が行き詰まることがなく、各種の情報が得られたり、お互いに支えられる地域を作る	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かたらいカフェ	当事者や介護者、支援者などが参加しお茶とおしゃべりができるサロン。協力医によるミニ認知症講座もあり。	2カ月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川のまちエリア会議	矢向・鶴見市場地区の医療介護の事業所が集まり地域に根差したこれからの包括ケアを考える。振り込め詐欺や消費者被害から高齢者を守る地域について取り組んだ	年1回（事務局会議4, 5回）

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
続・男の筋トレ	介護予防普及強化事業として企画した事業のあとの継続。 健康づくりとともに男性の地域での活動や交流を進める。	年12回